



まっころん

まばし

令和6年度後期

・第72号・

編集・発行 馬橋地区社会福祉協議会 広報部

松戸市馬橋 1854-3 馬橋東市民センター内 Tel&Fax 346-2758

馬橋地区社協の
協力町会・自治会

馬橋上宿・中宿・下宿・西・北・坂・前田各町会，中根町会，新作1丁目・第2・第3各町会
プロムナード北松戸自治会，三ヶ月町会，幸谷町会，中和倉第1・第2・第3各町会
八ヶ崎第1・第2・第3・七丁目・新町各町会，竜房台自治会，新松戸ガーデンア自治会



愛を

育んで

五十年



馬橋地区社会福祉協議会主催
結婚50年祝賀会



令和6年9月27日(金)

八ヶ崎市民センターに於いて

馬橋地区の各町会自治会長にご出席
いただき『結婚50年祝賀会』を開催しました。
会長 恩田忠治のお祝いの挨拶で開会し
参加者を代表して、新作一丁目町会の
片平紀行様からお礼の言葉がありました。

演芸の部は、和久深雪様のお祝いのピアノ
演奏から始まりました。小田清光様ご夫妻
のプロ顔負けのマジックショーは、鳩まで飛び
出し会場は驚きの歓声に包まれました。
最後は和久様のピアノにあわせて、全員で
『君といつまでも』などの懐かしのヒット曲を
合唱しました。

歓談中にご夫妻で築いた50年の思い出を
語っていただき、楽しいこと苦しいことのお話
に目頭が熱くなりました。

地球の温暖化により世界中で大きな災害
が発生しております。この日の思い出を一区
切りとして地域のつながりを深め、これから
も健康で楽しい生活をお過ごしください。さるよ
うご祈念いたします。



馬橋地区

令和6年11月10日(日)

於：松戸市立第三中学校

ふれあい広場音楽祭



恩田会長の挨拶



けやきの森保育園



県立松戸高校 合唱部



馬橋小学校 吹奏楽部



八ヶ崎小学校 吹奏楽部



お花の販売



県立松戸高校 美術部
似顔絵コーナー

馬橋地区社協主催の『ふれあい広場音楽祭』が行われました。ステージでの熱演、お花の販売もあり、楽しい交流の場になりました。大勢の方にご来場いただき、大盛況でした。



県立松戸高校 吹奏楽部



第三中学校 会場



第三中学校 吹奏楽部



ボランティア部

ひまわりサロン

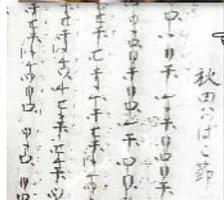


なぞなぞ

中和倉集会所



尺八演奏



唱譜(楽譜)です



踊りの練習

馬橋東市民センター

ひまわりサロンでは体操や合唱、ゲーム・ビンゴなど毎回いろいろと楽しんでいます。

麻雀教室や歌声喫茶も開催、是非 お近くの会場に足を運んでみてください。

◇ひまわりサロン◇ 参加費 100 円

- 馬橋東市民センター 第2(金)
- 八ヶ崎会館 第1(木)
- 三日月会館 第1(水)
- 中和倉集会所 第3(火)
- 各会場とも 13:30~15:30



◇ひまわり健康麻雀教室◇

- 参加費 200 円 9:30~15:00
- 馬橋東市民センター 第2・第4(金)
- ◎ 麻雀が出来なくても教えます!

◇歌声喫茶◇ 参加費 100 円

- 馬橋東市民センター 第4(金)
- 八ヶ崎会館 第2(火)
- 各会場とも 13:30~15:30

子育て支援部

子育てサロン

みんなで遊ぼう

子育て中のお父さんお母さん お子様と
一緒に遊びに来ませんか
寒さに負けず お友達と一緒に
元気に遊びましょう



八ヶ崎会館



馬橋集会所



プロムナード集会所



スタッフ一同 お待ちしています。

開催予定 各会場とも(火)10:00~11:30

- ◇ 馬橋集会所 12/3 2/4 3/4
 - ◇ プロムナード集会所 12/10 休み 3/11
 - ◇ 八ヶ崎会館 12/17 2/18 3/18
- 1・8月 祝日はお休みです。



令和6年9月17日 八ヶ崎会館で松戸市保育課職員を講師に
招いて、保育園の入園や子育て相談について お話がありました

高齢者部

ふれあい会食会

成田山へ 行ってきました

毎月1回(第3水曜日)の会食会、初めての試みとしてお部屋を飛び出し、成田山へ行って来ました。

出発の時には小雨で心配されましたが、バスを降りると雨が上がっているという楽しい旅行でした。



平成6年11月20日(水)



ふれあい会食会は 70歳以上 参加費 300円 (お一人暮らしの方で、市に登録して頂きます。)

***** 詳しくは馬橋地区社協事務所にお尋ねください *****

◆ 編集後記 ◆

日本各地で地震や大雨による災害が発生しています。

災害に対する備えを確認されたことがありますか？松戸市主催あるいは町会自治会主催の防災訓練等に参加されたことがありますか？この秋の防災訓練等の参加状況は例年より少し多くなった半面、若い人の参加が少なく感じました。

災害が発生したら、3日間は自助活動になることから、共助・公助の助けがあるまで頑張らなくてはなりません。

訓練等に参加すると、いろいろな体験ができ自身で身を守る知識も得られます。被害を最小限にする工夫に努めたいものです。

広報部長 矢口四郎

